

医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学泌尿器科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2020年4月 福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座  
教授 小島 祥敬

【研究課題名】 男性下部尿路症状患者における利尿適応性を障害する因子の探索

【研究期間】 2020年6月～2021年6月

【研究の意義・目的】

下部尿路症状 (LUTS) は加齢と共に有病率が増加する疾患であり、LUTS のなかでも蓄尿症状は特に生活の質を低下させます。男性は加齢と共に前立腺体積が増加するため、男性下部尿症状 (male LUTS) は蓄尿症状と排尿症状を合併することが多く、病態の理解や治療は複雑になります。これまで当講座では、「膀胱に尿が早く貯まるほど1回の排尿量が多くなる現象 (利尿適応性)」を報告してきました。利尿適応性は male LUTS 患者において障害されるとの報告があります。しかし、何が利尿適応性の障害に関与するかについては明らかになっていません。そこで我々は、これまでの診療記録から male LUTS 患者のデータと利尿適応性を調べることで、利尿適応性の障害に関与する因子を探索し、今後の LUTS 診療の一助とすることを目的とし、本研究を計画しました。

【研究の対象となる方】

2017年1月1日から2020年3月31日までに福島県立医科大学附属病院泌尿器科外来を受診した50歳以上の男性で下部尿路症状を有する方を対象とします。

【研究の方法】

電子カルテから以下の情報を利用し、統計解析から利尿適応性と各患者因子の関連を調査します。利尿適応性は排尿日誌から算出します。

＜試料・情報の種類＞

生年月日、身長、体重、BMI、既往歴、前立腺体積 (腹部超音波検査)、国際前立腺症状スコア、過活動膀胱症状質問票、最大尿流率・1回排尿量 (尿流測定)、残尿量 (残尿測定)、排尿時間・排尿量・尿意の程度 (排尿日誌)

【研究組織】

	(所属)	(職)	(氏名)
研究責任者	泌尿器科学講座	教授	小島 祥敬
研究分担者	泌尿器科学講座	助手	松岡香菜子
研究分担者	泌尿器科学講座	講師	赤井畑秀則

【他の機関等への試料等の提供について】 該当なし

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 担当 松岡香菜子  
電話:024-547-1316 FAX: 024-548-3393  
E-mail:kanaco@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 担当 松岡香菜子

電話:024-547-1316 FAX: 024-548-3393

E-mail:kanaco@fmu.ac.jp